

都市再生整備計画 事後評価シート  
後楽二丁目地区

平成24年2月

東京都文京区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	文京区		地区名	後楽二丁目地区			面積	5.0ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	3,804百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:特別区道文第807号、特別区道文第808号、特別区道文第878号 市街地再開発事業:後楽二丁目西地区第一種市街地再開発事業										
		提案事業	事業活用調査:事後評価調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:特別区道文第809号			市街地再開発事業による歩道設置に合わせ、地域住民の利便性向上のため事業を追加			定住人口及び整備歩道の歩行者数の指標に関係するが、数値目標は据え置く				
		提案事業	地域創造支援事業:小石川運動場改修工事			国民体育大会も視野に入れた小石川運動場の全面改修工事として追加			新たな指標として「小石川運動場の利用人数」を追加				
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成19年度～平成23年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	定住人口	人	470	H18	600	H22	695	738	○	あり なし	市街地再開発事業による住宅確保や歩道の創設、道路事業による歩道拡幅や遮熱性舗装により、定住人口の増加に貢献した。	
	指標2	真夏日の道路表面温度(ピーク時)	℃	55	H18	45	H22	49	51	△	あり なし	指標を他現場での実測値としたため、同一環境下での比較とならず、遮熱性舗装の正確な効果が検証できなかった。(その他の指標で補充)	
	指標3	整備歩道の歩行者数(ピーク時)	人/15分	175	H18	280	H22	203	291	○	あり なし	道路事業による歩道拡幅(歩行者空間整備)、市街地再開発事業による住宅・オフィスの複合施設の完成により、歩行者数が増加した。	
指標4	小石川運動場の利用人数	人/年	46,717	H18	48,000	H23	48,262	50,000	○	あり なし	小石川運動場グラウンドのレベルアップによる利用日数の増加、バリアフリー化による利用価値の向上により、利用者の増加が見込まれる。	平成25年5月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	路面温度上昇抑制効果(ピーク時)	℃	0	H23				-9			遮熱性舗装により、舗装路面の温度上昇が抑制され道路表面温度が低下した。	
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地再開発事業により、一体的にまちの整備がされ、火災や水害に対する不安が解消された。また、空間が広がり、まちがきれいになった。</li> <li>隣接地区でまちづくりの機運が高まり、現在、まちづくりの話が進められている。</li> <li>大江戸線駅前の歩道拡幅や歩車道の段差解消により、歩行者が安心して歩けるようになった。</li> <li>広場などが整備されたことにより、保育園の散歩コースや休憩場所として利用されるようになった。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	効果の発現状況について分析するためのモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 指標4については、工事が未完了であり、平成25年度に平成24年度の利用人数が確定するため、引き続き状況を確認する。					
	住民参加プロセス	住民に対するアンケート調査 後楽二丁目地区街づくり連絡協議会においての住民意見を聴取		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後は抽出した課題を解決するため、必要に応じて検討会などを行い、地元住民との協議を踏まえ、まちづくりの推進を図る。					
持続的なまちづくり体制の構築	後楽二丁目地区街づくり連絡協議会において後楽二丁目地区まちづくり検討会を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も連絡協議会等の開催を継続し、官民協働のまちづくり体制を持続。						

